

インナーアンナー



石垣市立 宮良小学校
〒907-0243
石垣市字宮良331-1
TEL 0980-86-7016
FAX 0980-86-7392
miyara-s@city.ishigaki.okinawa.jp

実り多い「2学期」 多くの皆様のご協力に【感謝】

「年の瀬」、皆様には益々ご清祥のこととご拝察致します。明日は、無事に2学期の終業の日を迎えます。1年で最も長い期間、最も多くの学校生活を過ごした子どもたち。どの子ども大きく成長することができたと思います。

生活面においては、「歩いて早登校」が浸透し、8:00までに登校できる児童が95%越えとなり、「進んで礼儀正しく挨拶できる」児童が増えてきたことは大きな成果でした。

先日の新聞報道にもあったように「黙って掃除（無言清掃）できる」児童が増えてきたことは、様々な活動を通してどの子ども自信や自己有用感を高めてきた証でしょう。大変素晴らしいことだと感じています。また、「自ら気づき行動する」児童が、高学年を中心に増えてきたことも、宮小っ子の心が整いつつあることの現れでしょう。たくさんの成果が見られた2学期でした。

学習面においては、どの学年も、予定された学習内容を終えることができたこと、基礎学習の内容の定着が進んだことに大変喜んでいきます。

保護者の皆様には、家庭生活全般において児童をしっかりと支え導いて頂いたことに心より感謝申し上げます。家庭学習へのご協力も有難うございました。多くの行事がありとても忙しい中での2学期でしたが、実り多き期間となりましたことは、職員・保護者・地域・関係機関との連携の成果であったことは言うまでもありません。関係各位に対し厚く御礼申し上げます。有難うございました。

今、本校では一輪車がブームとなっています。低学年では、50%以上の児童が乗りこなし、残りの児童も日々の技磨きに励んでいます。健康で明るい宮小っ子、優しく夢いっぱい宮小っ子、いろんなことにチャレンジする宮小っ子、この2学期も精一杯頑張りました。先日行われた「組踊り鑑賞会」では、児童会長の朝山咲さんが市民会館の舞台に立って、小坊主の役柄や所作を体験することができました。あのような対外的な場面でも、自然な形で積極性を発揮してくれたことに誇らしく思いました。



※小坊主の演技を体験する「咲」さん



※一輪車の練習に励む1年生

26日から冬休みが始まります。冬休みは、正月の親戚廻り等家族で過ごすことも多いと思います。楽しい時間を過ごす中で、ついつい、遅くまで起き生活リズムが乱れることも予想されます。くれぐれも健康安全には十分留意されて、どの家庭でもよいお年を迎えられますよう祈っています。令和元年度、2学期もいろいろお世話になりました。有難うございました。3学期も宜しくお願い致します。

※今年の漢字→

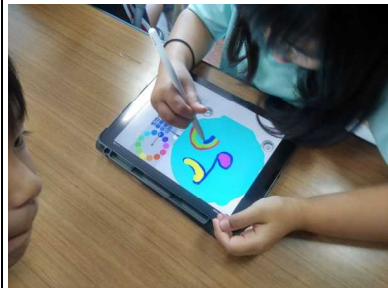


特別支援学校との交流学习

2年生が「プログラミング学習」を体験しました

12日(木)の午前中、八重山特別支援学校にて「プログラミング」の体験学習が行われ、本校の2学年児童が参加してきました。

今、話題となっている「プログラミング教育」とはどのようなものなのか？興味深い方も多いと思いますが、当日の内容は、コンピュータのシステムを活用し画面上のキャラクター等の動きを考え入力、実際に動かしては修正していくというような体験活動となっていました。



プログラミング教育では、動きのプログラミング入力を単純に体験しその楽しさを味わったり、入力した内容を修正していく過程での思考力を培ったり、他者と関わりよりよいものを作成していこうとする協働性や探究性を育てていくこと等をねらっています。



未来社会を構築していく担い手としての資質能力を、プログラミングを通して育成していく。今、学校現場ではその導入に向けてどの校種でも試行錯誤の状態。先進の研究校の取組に学んで、本校も学校の特色を生かしながらのプログラミング教育の在り方を、次年度、学校課題の一つとして取り組んでいくことになるでしょう。市教育委員会、関係機関、外部団体とも連携しながら、教育の可能性を広げていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

「ネット依存」注意報 発 令！

児童向けアンケート結果から早期改善を望む！

先日行った「インターネット使用に関わるアンケート」の結果から、本校高学年児童の各家庭におけるネット使用について、先日配布の文書でもふれたように幾つか課題が見えてきました。中でも「1日の使用時間が5時間を越える児童が多くいる」こと、そして「3年以上の7人に1人がネット依存の疑い(WHO調査結果の約2倍の出現率)」が認められたことは、何らかの対策の必要性を強く感じているところです。

学校として最も危惧しているのは、ネットやSNSを利用することで「睡眠不足」や「体調不良」といった学校生活に大きな影響を与えるような問題を、児童自身が実感していることです。「やめるにやめられない」まさしく「ネット依存症予備軍」に陥っていることを自覚できる状態は、周囲の大人がどうにか対策を講じていく以外に改善の道は考えられません。

ある学年では、「睡眠不足を自覚している児童が半数以上」あり、学力や体力への影響はもとより対人関係の悪化といった問題へと波及しかねない状況になっています。

現在、その学年を中心に、放課後のスポーツ・運動への参加促進と、朝の早登校奨励を進めています。児童が帰宅してから寝るまでの過ごし方で、「無制限にパソコンやネット型ゲーム機が使用できる状況をつくらない(8時以降はネット・ゲームにふれさせない)」を柱とした「保護者の立場での家庭内のルール見直しを図る」ことと共に、子どもが交友関係にある「家庭間の一斉行動(ネット使用を8時以降制限する)」を行うなど、早期の対応をお願い致します。

その第一歩として、お子さんや同学年の保護者同士相談する時間を設けて頂けると有り難いです。冬休みを前に、今親にできることに早めに取り組んでください。早期改善をもって、大切なお子さんを、心身共に健全な成長へと導いていきたいと思います。

※対応にお困りの方は、是非学校にご相談ください。